



久しぶりお目見えレンゲ畑

筑波山のふもとにレンゲソウのお花畑が出現。「今どき珍しいね」と近所の人たちの話題になっている。

つくば市小田の集団転作団地の一角で、水田だったところを大豆畑にするため、土壌の改良にと一・三畝にレンゲソウの種をまいた。

以前農家では、田植え前の水田で必ずレンゲを育て、畑にすきこんで天然の肥料としていた。それが化学肥料が普及し、田植え時期が早まり、レンゲの花が咲く前に田起こしが始まるようになり、レンゲ畑は姿を消した。

美しいピンク色のお花畑に筑波山のふもとに
 二二二二二二二二二二

は、近くの小田保育園（和田衛子所長）の園児らが花摘みに訪れたり、車で通りかかった人たちがしばし立ち寄ったり。園児と花摘みを楽しんだ同園の保母、国府田幸子さんは「昔はこの一帯はレンゲや菜の花でいっぱい。お花畑でかくれんぼしたものです」。

集団転作の指導にあたった筑波地区農業改良普及所では「肥えた土地にするのにレンゲを育ててみた。畑で花が楽しめるし、いいもんですね。六月いっぱいはこのままレンゲを育てます。見に来て下さい」とPRしている。

レンゲソウの花畑で花摘みをする園児